

越前市子ども読書活動推進計画

～「子どもが本に出会い、進んで読書する」環境づくり～



平成24年

越 前 市

越前市子ども読書活動推進計画 目次

第1部 計画の基本

- 1 子どもの読書活動推進に向けて 1
- 2 計画の目標と計画実現のための3つの柱 2
- 3 計画の実施期間と考え方 2

第2部 計画実現のための3つの柱

第1章 家庭における読書活動の推進 3

第2章 地域、学校等における読書活動の推進 4

第1節 地域における読書活動の推進 4

1 図書館における読書活動の推進 4

2 児童館や子育て支援センター、地区公民館などにおける読書活動の推進 6

3 市民活動団体・民間団体などにおける読書活動の推進 8

第2節 学校などにおける読書活動の推進 10

1 小・中学校における読書活動の推進 10

2 幼稚園・保育園における読書活動の推進 11

第3章 読書活動推進の人材育成 13

第3部 計画の推進体制

1 図書館、学校、市民活動団体などの連携・協力 ・ 14

2 推進体制 ・ 15

3 結び ・ 15

越前市子ども読書活動推進計画 イメージ図 ・ 16

【参考】平成23年度福井県内図書館統計 17

【参考】平成23年度福井県内図書館 児童サービス統計 18

【参考】平成23年度越前市立図書館統計 19

第1部 計画の基本

1 子どもの読書活動推進に向けて

今日、子どもを取り巻く生活環境は、テレビ、ビデオ、インターネットなどの様々な情報メディアの発達・普及に伴い大きく変化しています。また、ライフスタイルや価値観の多様化とあいまって、従来にも増して子どもの読書離れ、活字離れが進んでいます。

読書を通して、子どもたちは、実生活ではなかなか経験することのできない疑似体験や知識を得、多様な生き方・考え方に触れることができます。読書活動による視野の広がりや、多角的で柔軟なものの見方につながります。それは、他者を思いやる心や優しい心、円滑な人間関係の構築力、違う立場の人とのコミュニケーション能力など、自分の人生を生きぬく力を身につけるための礎といえます。

このように、子どもたちの成長にとって読書はかけがえのないものであり、読書の大切さを発達段階に応じて伝えていくことは極めて重要です。そのためには、「子どもが本と出会い、進んで読書する」環境づくりを進めていくことが急務となっています。

国は、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」を平成20年3月に定め、県は『子どもが自主的に本に親しみ、みんなで読書を楽しむ環境づくり』を基本目標に掲げて「元気ふくいっ子読書活動推進計画」を平成22年3月に策定しています。

平成23年度の全国学校読書調査¹によれば、10年前と比較し1か月間での読んだ本の冊数はやや増加しており、不読率²は減っています。今後も読書冊数の増加を図り、着実に不読率を減少させていく活動を行っていくことが必要です。

そこで本市では、国、県の計画との整合を図り、学校、図書館などの公的機関と多くの市民ボランティアが連携して、子どもの読書活動をなお一層推進するため、「越前市子ども読書活動推進計画」を策定します。併せて、本計画策定を契機として、積極的に市民との協働による読書活動を推進し、「読書のまち」を目指していきます。

¹ 学校読書調査 = 毎日新聞社が(社)全国学校図書館協議会の協力を得て、全国の小中高生を対象に毎年実施している調査。読書冊数は、10年前と比べ小学生6.2冊が9.9冊、中学生2.1冊が3.7冊、高校生1.1冊が1.8冊に増加

² 不読率 = 学校読書調査において5月の1か月間に本を読まなかった人の割合(パーセント)。10年前と比べ小学生10.5%が6.2%、中学生43.7%が16.2%、高校生67.0%が50.8%に減少

2 計画の目標と計画実現のための3つの柱

「子どもが本に出会い、進んで読書する」環境づくりを目標に、家庭・地域・学校・図書館などがそれぞれの場所で読書活動を推進するため、計画実現のための次の3つの柱について本計画で具体的活動を提示し、市全体で取り組んでいきます。

なお、ここでいう「本に出会い」とは、初めての本に出会うことと人生の1冊に出会う意味も込められています。

(1) 家庭における読書活動の推進

家庭で子どもが読書する環境づくりを進めるため、家庭での読書推進について様々な機会を通して啓発していきます。

(2) 地域・学校などにおける読書活動の推進

関係機関の図書の実態などの整備を図り、市民ボランティアや保護者会とともに、読書活動を推進していきます。

(3) 読書活動推進のための人材育成

保育園、幼稚園、学校、図書館などの教育機関や公的機関で、子どもの読書活動を推進していくために、推進活動を支える人材の育成を図っていきます。

3 計画の実施期間と考え方

本計画の実施期間は平成24年度から平成28年度までの5か年とし、その間、本計画に基づいて、具体的活動を進めていきます。その後においても、継続して計画の見直しを行います。

市は、それぞれの担当部門で活動を実施している事業について、本計画を基に関係機関、団体との連携、協力を系統的に継続して行うことを明確にして、子どもの読書活動を推進していきます。

なお、計画期間中に具体的活動を実施するにあたり、新たな課題や、具体的活動が必要となった場合は、関係機関と協議し、適宜、計画を見直すこととします。

第2部 計画実現のための3つの柱

第1章 家庭における読書活動の推進

【現 状】

- 1 家庭においては、ゲームやインターネットの浸透、生活環境の変化などによって子どもの読書時間が減少し、本離れが進んでいると考えられます。
 - (1) 家族構成や保護者の就労形態から、家庭での読み聞かせに十分な読書時間が確保されていません。
 - (2) 読書を習慣とする大人が少なく、子どもの周りに常に本があるという環境が整っていません。

【課 題】

- 1 家庭における読み聞かせや、家族そろって読書をする時間の確保が必要です。
- 2 各家庭における「本のある生活」の啓発が必要です。
- 3 各家庭での自主的な読書活動を持続的に推進するため、各家庭に合った読書活動が必要です。

【計画期間内の具体的活動】

- 1 子どもの読書が習慣として身につくような環境を整備するため、次のことについて家庭に向けて啓発活動を推進していきます。
 - (1) 母子手帳交付時及び出生届提出時に配布する絵本リストをはじめ、関係機関から配布されたお薦め本の紹介リストを通して、家庭における読み聞かせや読書活動の大切さを啓発していきます。
 - (2) 家族みんなで本を読み合うとともに、読み聞かせをする時間の確保や、家庭で子どもの周りに常に本がある環境づくりをすることの意義について啓発していきます。
 - (3) 子どもが本に親しめるよう、家族が揃って図書館や図書コーナーのある公民館などの公的機関に出かける時間を持つことの大切さを啓発していきます。
 - (4) 図書館をはじめ、関係機関などで開催される読書推進事業について、積極的に参加することの大切さを啓発していきます。

第2章 地域・学校における読書活動の推進

第1節 地域における読書活動の推進

1 図書館における読書活動の推進

【現 状】

- 1 子どもたちが本と出会い、読書意欲を高めるため、読書の楽しさを知る機会を提供するとともに、年齢に応じた図書を整備に取り組んでいます。
 - (1) 推薦図書リスト「おすすめ赤ちゃん絵本」を作成し、来館者、幼稚園、保育園など関係各所に配布するとともに、児童閲覧室に赤ちゃん絵本コーナーを設け、読み聞かせの大切さを啓発しています。
 - (2) 子どもに読んでほしい本や読みつがれてきた本を集めた「おすすめ絵本コーナー」や、定期的にテーマを決めて本の紹介をする「展示コーナー」を児童閲覧室に設けて、本を紹介しています。
 - (3) 保育園、幼稚園、小学校、中学校を対象とする図書館の団体利用³を実施しています。
 - (4) 全小学校を対象に、学校に出向いて、図書資料の団体貸出⁴と「ブックトーク」⁵を実施しています。
 - (5) 外国人児童のために、児童閲覧室に外国語絵本コーナーを設けています。
 - (6) 中高生を対象としたティーンズコーナーを設け、ボランティアと協働して、本の紹介をしています。
 - (7) 越前市出身の絵本作家、加古里子（かこさとし）コーナーや越前市ゆかりの紫式部コーナーを設置して、絵本や物語を紹介しています。
 - (8) 越前市の特徴であるものづくりをテーマとしたコーナーを設置しています。
 - (9) 地域の各団体にも団体貸出を実施し、遠隔地の子どもが本に親しむ機会を提供しています。
 - (10) 図書館職員や教員、保育者、市民ボランティアの資質向上を目指し、研修会を開催しています。

【課 題】

³ 団体利用＝市内の幼稚園・保育園・小学校などが希望した日に図書館に団体で来館し、館内の案内や読みきかせ会等を楽しむことを目的とした事業

⁴ 団体貸出＝責任をもって本を管理できる団体に、原則50冊2か月間本を館外貸出するサービス

⁵ ブックトーク＝特定の主題について何冊かの本を簡潔に紹介し、聞き手自身が読書の楽しみに気づき読書意欲を喚起させることを目的とした事業

- 1 より一層、子どもが気軽に利用できる図書館運営が求められています。
- 2 障がいのある子どもに対する読書活動の支援が必要とされています。

【計画期間内の具体的活動】

- 1 読書の質を高めるため、現在の事業を充実し、子どもの読書意欲をより引き出す工夫をしていきます。
 - (1) 0～2歳の絵本リストを作成し、出生時に配布します。
 - (2) 乳幼児と保護者を対象とする「絵本であのね」「絵本のひろば」⁶を実施します。
 - (3) 幼児、児童、保護者を対象に「おはなしあのね」「たのしいかみしばい」「きっずらんど」「子ども読書会」「おはなしおたのしみ会」「こども映画会」「こどもランド」⁷を実施します。
 - (4) 保育園、幼稚園、小学校を対象とする図書館の団体利用を実施します。
 - (5) 小中学生を対象とする「ブックトーク」を実施します。
 - (6) 夏休みなどの長期休暇前に、小学生を対象としたおすすめ本を紹介します。
 - (7) 児童閲覧室に特集本コーナーを設け、年数回テーマを決めて本を紹介します。
 - (8) 越前市出身の作家やゆかりの人物の作品の充実を図ります。
 - (9) 毎月発行の図書館だよりに、おすすめ本を掲載し、公民館などに配布します。
 - (10) 越前市の伝統産業や地場産業に関する展示コーナーの内容をさらに充実します。
- 2 図書館職員や教員、保育者、市民ボランティアの資質向上を図るための研修会を継続し、開催していきます。

⁶ 絵本であのね = 毎月第3木曜日に越前市中央図書館で行われる手遊びやわらべうた、読みきかせを家族で楽しむ会

絵本のひろば = 毎月第1金曜日に今立図書館で行われる手遊びやわらべうた、読みきかせを家族で楽しむ会

⁷ おはなしあのね = 毎月第2・4土曜日に越前市中央図書館で行われる読みきかせ、手遊び等を楽しむ会

たのしいかみしばい = 毎月第1土曜日に越前市中央図書館で行われる紙芝居、手遊び等を楽しむ会

きっずらんど = 毎月第3土曜日に越前市中央図書館で行われる読み聞かせ、工作を楽しむ会

子ども読書会 = 毎月第1土曜日に今立図書館で行われる子どもたちと読書を楽しむ会

おはなしおたのしみ会 = 毎月第2土曜日に今立図書館で行われる読み聞かせ、手遊び等を楽しむ会

こども映画会 = 毎月第3土曜日に今立図書館で行われる子ども向け映画会

こどもランド = 毎月第4土曜日に今立図書館で行われる読み聞かせ、工作を楽しむ会

- 3 学校と連携し、子どもの読書や調べ学習の環境を整えていきます。
 - (1) 全小学校を訪問し、ブックトークを行います。
 - (2) 学校からの要請に応じ、学習内容に沿った資料の紹介、提示や図書整備など、学校図書館充実の支援を行います。
 - (3) 調べ学習の支援のため、授業に必要な参考図書を貸出できるようにセットで整備します。
 - (4) 朝読書のための団体貸出資料を整備します。
- 4 ホームページを活用して図書館蔵書の予約検索を容易にし、更なる利用を呼びかけていきます。
- 5 障がいのあるすべての子どもたちが自主的に楽しく読書が楽しめるよう、障がいの状態や程度に応じた図書を整備し、市内の養護学校などと協働して、団体貸出などの支援を行っていきます。
- 6 図書館の目標値を設定し、利用促進を図ります。
 - (1) 大人を含めた一人当りの貸出冊数は、6.8冊を目標とします。
 - (2) 計画期間内の蔵書冊数は、517,000冊を目標とし、そのうち児童書の蔵書冊数は110,000冊とします。
 - (3) 図書館利用カードは、小中学生の殆どが所持するように啓発するとともに、大人も含め47,300枚の発行を目標とします。

2 児童館や子育て支援センター⁸、地区公民館などにおける読書活動の推進

【現 状】

- 1 児童館において、月1回程度親子教室や児童クラブで読み聞かせを実施しています。
 - (1) 赤ちゃん教室⁹において、読み聞かせの大切さについて啓発しています。
 - (2) 児童館の図書コーナーの充実に努めています。
- 2 子育て支援センターでは、利用者に読み聞かせを行い、その中で人気のある絵本を複本で揃え、貸し出しを行っています。
 - (1) 子育て支援センター職員が地域に出向き、幼稚園、保育園入園前の子ども

⁸ 子育て支援センター＝地域全体で子育てを支援するところ。親子がいつ来ても自由に過ごせる場所で子育て相談や親子教室、交流活動などを行っている。越前市には3箇所の子育て支援センターがある。

⁹ 赤ちゃん教室＝1歳までの赤ちゃんと保護者たちを対象に、各地の児童館などで月1回開催し、計測・育児相談・保護者の交流を行う会

の保護者に対して、読み聞かせを行い読書を通した子と親の触れ合いの大切さについて啓発を進めています。

- 3 地区公民館（以下公民館という）において、読み聞かせ、読み聞かせ研修会、地域の民話のお話し会、子ども読書講座、古本市、適書¹⁰の選定・購入・貸出し、公立図書館からの借入れ、図書室における子どもコーナーの設置、広報誌での読書啓発を実施しています。
- （1） 公民館によっては、家庭教育支援チーム¹¹と協力して、未就学児の親子を対象に読み聞かせを行っています。

【課題】

- 1 児童館、公民館では、子どもが本に興味を持ち読書の習慣が身につく活動を、地域ぐるみで取り組んでいくことが必要です。

【計画期間内の具体的活動】

- 1 本と出会い、読書の楽しさを知る機会をつくっていきます。
- （1） 児童館において、図書コーナーを設け、積極的に図書の貸出しを実施していきます。
- （2） 児童厚生員や地域のボランティアによる読み聞かせや本市に伝わる民話など、身近なお話を紹介し、親子で読書に親しむ機会をつくります。
- （3） 図書館の団体貸出を利用して、子どもたちの求める本を児童館、公民館などで手に取れる体制をつくります。
- （4） 公民館と家庭教育支援チームが協働でさらに読み聞かせを推進し、絵本の紹介や貸出しを行っています。
- （5） 既存施設の活用により、加古里子（かこさとし）氏の作品や資料などを常設展示し、子どもをはじめとした読書活動の推進を図ります。
- （6） ボランティアなどの協力を得て、児童館や公民館の図書の選定・整理などを行います。
- 2 読書活動の啓発を行います。
- （1） 公民館などの広報誌を活用して、家庭での読書活動の啓発を行います。

¹⁰ 適書 = 子どもの発達段階に応じた図書

¹¹ 家庭教育支援チーム = 身近な地域で、子育てや家庭教育に関する相談にのったり、親子で参加する様々な取り組みや講座などの学習機会、地域の情報などを提供し、家庭教育を応援するチーム。文部科学省が認定している。越前市では「オレンジサポーターズ」が活動している。

3 子どもを取り巻く大人への支援を行います。

(1) 児童厚生員の読み聞かせ技術向上のため、研修会等などの情報を提供します。

(2) 親子教室に参加している保護者を対象に、ワークショップを開催します。

4 子どもを持つ親への読書活動の推進を行います。

(1) 母子手帳交付時にブックリストなどを配布し、読み聞かせの大切さを啓発していきます。また、母親を通して父親の読書活動への参加を促進していきます。

(2) 「2か月セミナー」において、赤ちゃんと保護者が絵本を見ながらゆっくり心ふれあうひとときを持てるよう、ボランティアによる読み聞かせを行い、絵本を贈呈する「ブックスタート事業」を実施します。

(3) 育児相談や赤ちゃん教室などの機会に、保健師が読書を通した親と子の触れ合いの大切さについて啓発していきます。

(4) 幼児健診時などに絵本コーナーの場を設け、読み聞かせや絵本に触れることの大切さについて啓発していきます。

(5) 読み聞かせに関する研修会などの情報を提供します。

3 市民活動団体・民間団体などにおける読書活動の推進

【現 状】

1 子どもに関わる団体などでは、子どもの健全育成を目的とした活動を行っています。

2 図書館などを拠点として活動する団体が、読書推進に関するボランティア活動を行っています。

(1) 「越前市図書館友の会」は古本市やコンサート、朗読会など様々な行事を実施するほか、機関紙「友の会だより」を年4回発行するなど、多彩な活動を展開して読書活動を推進しています。友の会の中のYA倶楽部は、毎月中高生向けの資料をティーンズコーナーで紹介し、機関紙も発行して中高生の読書活動の推進を図っています。

(2) 「図書ボランティアネットワークよもよも」は学校や図書館と連携して子どもと本をつなぐ活動を行っています。

(3) 講演会や研修会などを実施して、読み聞かせ技術などの資質向上を図っています。

(4) 子どもの読書活動に携わる人たちや、新たに活動を始めようとする人たちへの研修会などの情報を提供しています。

【課 題】

- 1 子どもに関わる団体、市民活動団体、文化団体などの更なる読書活動の推進が必要とされています。
- 2 図書館などを拠点として活動する団体間の情報交換と、連携した読書活動の支援が求められています。

【計画期間内の具体的活動】

- 1 子どもに関わる団体や図書館などを拠点として活動する団体が、それぞれ取り組んでいる活動を継続し、さらに読書活動を充実させていきます。
 - (1) 自治振興会¹²、青少年健全育成越前市民会議、越前市子ども会育成連絡協議会、及び文化団体などに読書活動の推進を働きかけていきます。
 - (2) P T A活動で積極的に読書啓発に取り組むとともに、図書館利用カードの所持を推進します。
- 2 図書館などを拠点として活動する団体の連絡会を開催し、情報共有化を図ります。



12 自治振興会 = 市民が主役のまちづくりを目指して、地域の問題を解決し地域住民のニーズに応じたきめ細やかなまちづくりを推進することを目的に市内全地区に組織されている。現在、地区公民館と一体となって「自立と協働」を理念とした生涯学習の振興を図っている。

第2節 学校などにおける読書活動の推進

1 小・中学校における読書活動の推進

【現 状】

- 1 全小・中学校で全校一斉読書活動が実施され、本に親しむ習慣づけを行っています。
 - (1) 児童生徒の読書活動を推進するため、12学級以上の学校には、司書教諭が配置されています。
 - (2) 保護者や地域のボランティアが「朝読書」などで読み聞かせを行っています。
 - (3) 学校と図書館との連携により、図書館司書が学校を訪問してブックトークを行っています。

【課 題】

- 1 学校図書館の蔵書数が標準冊数に達している学校は、小学校 16校、中学校 5校ですが、古い本が多くなっている現状をふまえ、適切な廃棄を行いながら、蔵書数の増加を計画的に行うことが必要となっています。
- 2 発達段階に応じた読書活動が重要なことから、ブックリストの作成や読書環境の整備が必要となっています。

【計画期間内の具体的活動】

- 1 すべての子どもたちが、読書の楽しさを味わう体験をしたり、適書に親しむことで、意欲的に読書活動に取り組めるようにしていきます。
 - (1) 全校一斉読書を推進し、読み聞かせやブックトークなどの読書活動を充実していきます。
 - (2) 地域の人材を活用した読み聞かせやブックトークなどのボランティア活動を推進します。
 - (3) 読書活動について、学校行事や委員会活動、朝の会、帰りの会などを通して、児童生徒間の交流（異学年も含む）を行い、読書の幅を広げます。
 - (4) 学校図書館と図書館が連携し、ブックリストを活用して、適書についての意識啓発に取り組みます。
 - (5) 「子ども読書の日」「読書週間」を核とした読書活動啓発運動を推進します。

- 2 すべての子どもたちが、意欲的に読書活動や学習活動に取り組める読書環境づくりに取り組みます。
 - (1) ブックリストに対応し、適書に親しめる環境となるように学校図書館の蔵書の充実を図ります。
 - (2) 児童生徒の委員会活動の充実を図るとともに、ボランティアの活用を推進し、学校図書館の環境を整備します。
 - (3) 読みたい本をすぐに手に取れるように、学校図書館と図書館が連携して、学級文庫を充実します。
 - (4) 学校図書館と図書館が連携して、図書資料を活用した授業を推進します。
 - (5) 学校図書館の蔵書数が標準冊数に達していない学校を重点的に整備するとともに、本の購入と廃棄を計画的に進め各学校の蔵書の充実に努めます。
- 3 保護者など大人の読書に対する意識の高揚を図ります。

保護者の読書に対する意識向上や読書に関する指導力や読み聞かせ、ブックトークなどの技術向上のための研修会や講演会などへの参加を積極的に促します。

2 幼稚園・保育園における読書活動の推進

【現 状】

- 1 発達段階に応じた絵本の読み聞かせや紙芝居を実施することにより、絵本の好きな子どもが増えてきています。
 - (1) 日々の保育において場面ごとに絵本を取り入れ、子どもの想像力や集中力を養っています。
 - (2) 本に親しむ環境づくりの一環として、保護者や地域ボランティアによる読み聞かせを実施しています。
 - (3) 絵本コーナーが設置されており、子どもや保護者がいつでも絵本を手にとることができる環境づくりが行われています。
 - (4) 「図書館だより」を利用して、保護者に、家庭での読書環境づくりを啓発しています。

【課 題】

- 1 誰もが気持ちよく絵本を楽しめるよう、子どもたちに絵本の扱い方を指導していく必要があります。
- 2 障がいのある子どもや外国人の子どもも、同じように絵本を楽しめる環境づくりが必要です。

- 3 保育者は、積極的に読書に関する研修に参加し、本に親しむ環境づくりに努める必要があります。

【計画期間内の具体的活動】

- 1 絵本や物語の楽しさと出会う多様な機会を提供し、読書習慣の確立を図ります。
- (1) 絵本コーナーの展示を工夫し、外国語絵本を取り入れるなど、更なる絵本の充実を図っていきます。
 - (2) 障がいの状態や程度に応じた図書については、図書館の団体貸出を利用していきます。
 - (3) 保育者だけでなく、地域や保護者による読み聞かせボランティアを受け入れて、絵本の読み聞かせや紙芝居などを積極的に行います。
- 2 絵本を通じた親子のふれあいや語り合いを推進します。
- (1) 子どもたちがお気に入りの絵本を持ち帰り、家庭での読み聞かせを促します。
 - (2) 園は、保護者や子どもに対し、絵本の取り扱い方について指導していきます。
- 3 保護者など大人の読書意識高揚のための取り組みを行います。
- (1) 保護者向けの講演会や絵本だより発行などにより、読書の重要性を啓発します。
 - (2) 保育者の読み聞かせの技術向上のため、研修会などへの参加を積極的に促します。



第3章 読書活動推進の人材育成

【現 状】

- 1 読書活動を支えるボランティアは、充実している状況にいたっていません。

【課 題】

- 1 ボランティアの固定化などが見受けられるため、後継者などの発掘、育成を図ることが必要です。
 - (1) 読み聞かせの技術向上などの研修会への参加について、図書館、学校、市民活動団体などと連携し、研修会の参加について周知を図ることが必要です。

【計画期間内の具体的活動】

- 1 図書館職員、教員、保育者、保健師、保護者、ボランティアに対して、読み聞かせの技術向上の研修や子どもの本の理解を深めるための講座などを開催し、幅広く読書活動ができる人材の育成に努めます。
 - (1) 図書館職員は県立図書館で開催されるブックトークなどの研修会に参加し、資質向上に努めます。
- 2 読書活動ができるボランティアの発掘を積極的に行い、読み聞かせの技術向上などの研修や子ども読書活動への参加を促します。



第3部 計画の推進体制

1 図書館、学校、市民活動団体などの連携・協力

【現 状】

- 1 図書館司書が全小・中学校を訪問し、学校図書館充実の支援を行っています。
- 2 図書館が子どもの発達段階に応じた推薦図書リスト「おすすめあかちゃん絵本」などを作成して、幼稚園・保育園小中学校へ配布しています。
- 3 中学2年生の職場体験学習として、毎年各校数名が図書館で働くことを学んでいます。

【課 題】

- 1 より効果的に活動を実施していくためには図書館、児童館、公民館、学校、幼稚園、保育園及び市民活動団体などの連携・協力が必要です。

【計画期間内の具体的活動】

- 1 保育園などで保護者が集まる機会を利用して、「子どもの読書に関する研修会」を開催します。
- 2 図書館と学校が連携して、学校図書館の支援を行います。
 - (1) 子どもの発達段階に応じた推薦図書リスト「おすすめあかちゃん絵本」などを作成して、幼稚園、保育園、小・中学校、公民館などへ継続して配布します。
 - (2) 授業に必要な参考図書をセットで整えて学校に貸出し、調べ学習の支援を行います。
- 3 図書館、学校、公民館、市民活動団体、民間団体などが連携・協力した取り組みを推進していきます。
 - (1) 図書館、学校、公民館、市民活動団体、民間団体などの情報交流を促進します。
 - (2) 読書に関するイベントはできる限り、家族と一緒に参加できるように「家庭の日 家族ふれあいデー」である第3日曜日に実施することを、各団体、市、県でPRします。

2 推進体制

市（主に図書館、生涯学習課、児童福祉課、健康増進課、学校教育課を中心に）は、目標実現のために、庁内連絡会議を開催するとともに、市民活動団体、民間団体などと子ども読書推進連絡会議を開催し、計画期間内の推進状況を把握し、具体的活動について検討するなど、PDCA サイクル¹³により計画を推進します。
なお、庶務は図書館が行います。

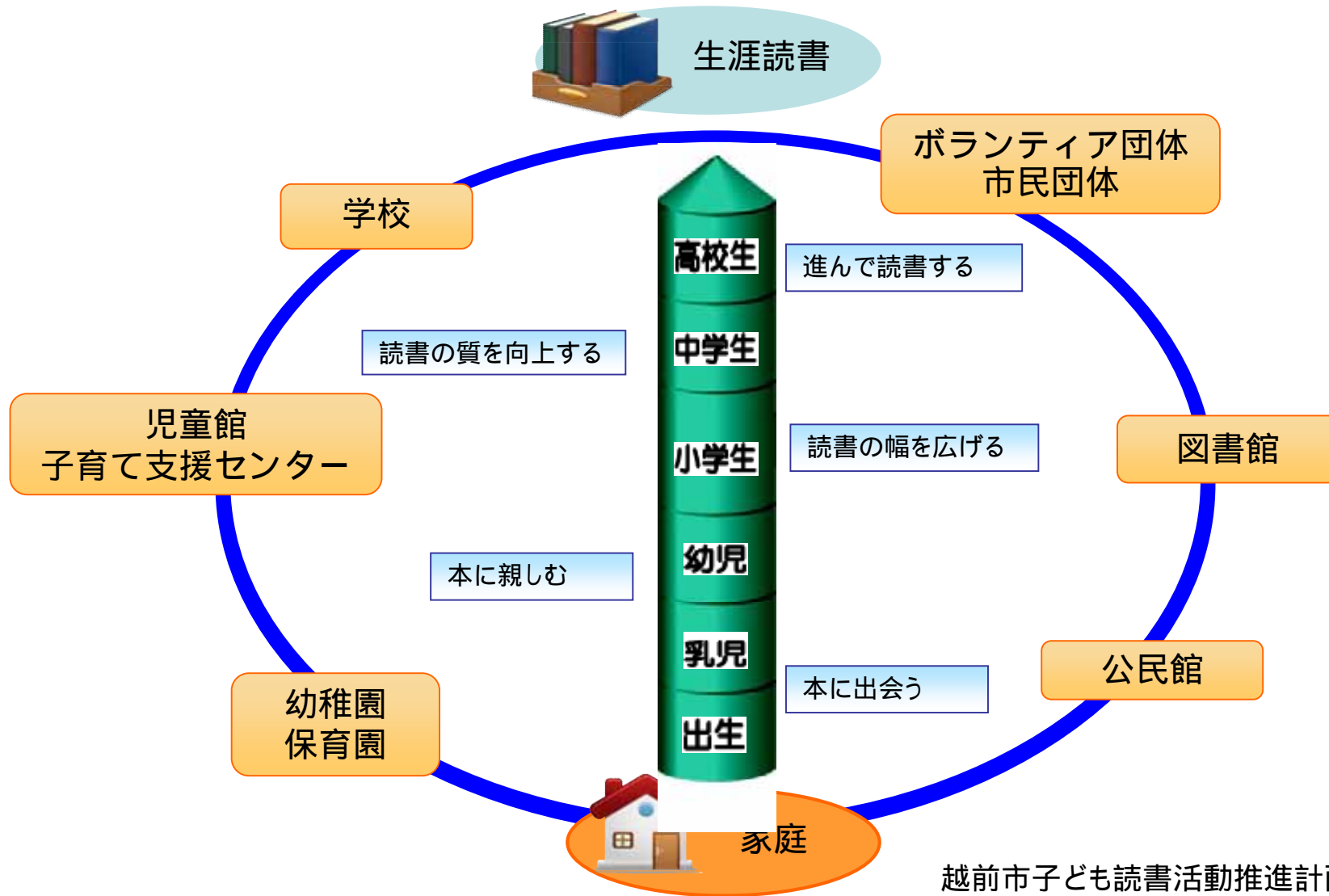
3 結び

本計画を積極的に推進し、市教育振興ビジョンで掲げた「主体的に学びを活かす生涯学習社会の実現」に向けて、市民と協働して「読書のまち」を目指します。



13 PDCA サイクル=Plan（計画） Do（実行） Check（評価） Action（改善）という政策サイクル。P段階での代替案の検討と評価を行った上で、このサイクルを回す必要がある。最もシンプルなマネジメントシステム

目標「子どもが本に出会い、進んで読書する」環境づくり



【参考】 平成23年度 福井県内図書館統計

図書館名	自治体人口 (H23.4)	蔵書冊数	開館 日数	登録者数		予約		個人貸出冊数		団体 貸出数	1人当たり 貸出冊数	広報誌 発行	H24図書 購入費予算 (千円)
				全登録者数	H23登録者数	予約総数	内インターネット	貸出総数	内児童書				
福井県立図書館	803,599	1,131,511	297	136,516	5,044	80,168	52,667	815,742	215,257	32,888	1.02		47,070

市立図書館

越前市立図書館	85,445	469,463	289	31,651	2,479	23,981	8,370	517,692	196,098	26,586	6.06		19,150
福井市立図書館	266,146	1,065,247	289	122,734	4,704	102,784	53,981	1,180,500	333,769	29,231	4.44		80,610
敦賀市立図書館	67,755	240,536	279	50,149	1,055	19,603	14,824	299,271	106,739	20,015	4.42		12,000
小浜市立図書館	31,085	168,370	274	8,739	435	1,896	672	79,857	35,058	7,998	2.57		6,433
大野市図書館	34,898	167,845	285	17,035	732	3,806	839	128,214	53,574	8,198	3.67		8,800
勝山市立図書館	25,285	125,044	291	19,295	365	3,990	889	113,118	39,229	7,803	4.47		6,040
鯖江市図書館	67,493	307,334	343	55,941	1,782	14,434	5,815	455,828	156,616	28,545	6.75		17,053
あわら市立図書館	29,901	143,580	282	7,754	458	7,175	987	104,909	48,962	21,304	3.51		5,000
坂井市立図書館	91,640	574,064	288	86,618	2,297	59,187	29,960	778,898	305,208	38,926	8.50		23,000
合 計	699,648	3,261,483	2,620	399,916	14,307	236,856	116,337	3,658,287	1,275,253	188,606	44.39		178,086

9市の平均

	77,739	362,387	291	44,435	1,590	26,317	12,926	406,476	141,695	20,956	4.93		19,787
--	--------	---------	-----	--------	-------	--------	--------	---------	---------	--------	------	--	--------

自治体人口は、福井県政策統計課統計資料「福井県の人口と世帯(推計)2011年4月1日現在」による

福井県立図書館は2館、福井市立図書館は5館、あわら市立図書館は2館、越前市立図書館は2館、坂井市立図書館は4館の合計
開館日数は、複数館の場合は平均の開館日数

【参考】 平成23年度 福井県内図書館 児童サービス統計

図書館名	児童サービス							ヤングアダルト	学校及び他機関へのサービス	
	児童室	専用カウンター	児童書蔵書冊数	児童書個人貸出冊数	ブックスタート事業	絵本の配布	子供向け定例行事	専用コーナーの有無	相手先	サービス内容
福井県立図書館	有	有 (一部無)	122,531	215,257	未実施		有	有(ティーンズコーナー)		団体貸出、県内中高宛ブックリストのメール配信、読み聞かせ、展示。

図書館名	児童サービス							ヤングアダルト	学校及び他機関へのサービス	
	児童室	専用カウンター	児童書蔵書冊数	児童書個人貸出冊数	ブックスタート事業	絵本の配布	子供向け定例行事	専用コーナーの有無	相手先	サービス内容
越前市立図書館	有 (一部無)	有 (一部無)	97,714	196,098	未実施		有	有(ティーンズコーナー)		絵本の読み聞かせ、ブックトーク、出前講座(親子対象)、団体貸出。小学校へ学期毎に図書貸出。
福井市立図書館	有 (一部無)	無	207,916	333,769	実施	有	有	有(ティーンズコーナー)		小中学校にてブックトーク、読み聞かせ、BM巡回、読み聞かせの指導。
敦賀市立図書館	有	有	55,632	106,739	実施	有	有	有(YA・ヤングアダルト)		毎月1回の団体貸出配送。
小浜市立図書館	有	有	55,980	35,058	未実施		有	有(青少年コーナー)		年3回、図書・紙芝居の貸出(配布・回収)。
大野市図書館	有	無	42,607	53,574	実施	有	有	有(ティーンズからのコーナー)		要望に応じて、ブックトーク・読み聞かせの実施。
勝山市立図書館	有	無	33,586	39,229	未実施		有	有(青少年コーナー)		団体貸出(団体につき50冊まで2ヶ月)、園外保育・学校行事にて読み聞かせを実施。
鯖江市図書館	有	有	61,752	156,616	実施	無	有			学校支援として小・中学校に司書を派遣。不定期に市内小学校にてブックトーク。
あわら市立図書館	有 (一部無)	無	47,677	48,962	実施	有	有	有(ヤングアダルト)		小学校・幼稚園への団体貸出。来館時に読み聞かせ。各小学校年1回のブックトーク
坂井市立図書館	有 (一部無)	無	146,975	305,208	未実施		有			学校配本、全クラスに本の貸出(40冊)。月1回の団体貸出及び読み聞かせ。

学校、 学校図書館、 病院、 福祉施設、 保育園・幼稚園、 その他

【参考】 平成23年度 越前市立図書館統計

図書館名	自治体人口 (H24.3)	蔵書冊数	開館 日数	登録者数			予約		貸出冊数		団体 貸出数	1人当たり 貸出冊数	広報 紙 発行	H24図書 購入費予 算 (千円)
				全登録者数	内18歳以下 登録者数	H23登録者数	予約総数	内インターネット	貸出総数	内児童書				
越前市中央図書館	85,445	353,322	302	27,517	6,263	2,052	20,636	8,370	436,365	164,055	19,286	6.06		19,150
越前市今立図書館		116,141	276	4,134	1,565	427	3,345		81,327	32,043	7,300			
合計	85,445	469,463		31,651	7,828	2,479	23,981	8,370	517,692	196,098	26,586			

子ども向け行事

名称	開催日	開催回数	参加者		会場
			子ども	大人	
たのしいかみしばい	毎月第1土曜日 11:00~	11回	136名	89名	中央図書館
おはなしあのおね	毎月第2・4土曜日 11:00~	26回	252名	177名	中央図書館
きっずらんど	毎月第3土曜日 11:00~	11回	152名	83名	中央図書館
としゃかんたまたまばこ	こどもの日等特別行事	3回	140名	37名	中央図書館
絵本のひろば	毎月第1金曜日 10:30~	10回	80名	50名	今立図書館
おはなしおたのしみ会	毎月第2土曜日 14:00~	10回	152名	80名	今立図書館
子ども映画会	毎月第3土曜日 14:00~	6回	105名	34名	今立図書館
こどもランド	毎月第4土曜日 14:00~	11回	155名	75名	今立図書館
子ども読書会	毎月第1土曜日 14:00~	12回	82名	12名	今立図書館

子ども向け行事・ブックトークは、図書館ボランティアと連携し実施している。

ブックトーク

- ・市内小学校からの申込みにより実施。
- ・ブックトーク実施時に団体貸出も実施。

実施小学校数	17校
実施回数	58回
延べ参加人数	3,055人

同一小学校で、学年別に複数開催。

展示

名称	回数	会場
福井震災の記録	1回(H23.3.2~4.27)	中央図書館
こうのとりの	通年	中央図書館
一般・児童書架展示 コーナー	28種(2ヶ月毎展示)	中央図書館
一般・児童書架展示 コーナー	12種(2ヶ月毎展示)	今立図書館